

令和6年度第2回長浜市支え合いの地域づくり推進委員会 議事録

日時：令和6年12月19日（木）

午後2時00分～午後3時35分

場所：長浜市民交流センター ふれあいホール

<出席者>

（委員）藤森忠夫、田部富子、吉村三津子、藤森泰志、藤田美恵子

山下憲昭、橋本文男、三段崎静子、伊藤英司、安原秀男、山岡伸次

（敬称略）以上11人

（地域包括支援センター）南長浜地域包括支援センター 森

神照郷里地域包括支援センター管理者 川崎

浅井びわ虎姫地域包括支援センター管理者 丸岡

湖北高月地域包括支援センター 森

木之本余呉西浅井地域包括支援センター管理者 沢田

以上5人

（事務局）長寿推進課 課長：大塚、課長代理：星野、副参事：福永、係長：主馬、
主幹：森、山岸、中川

健康推進課：富永

長浜市社会福祉協議会：福本

以上9人

<欠席者>

松井善典、伊吹清栄

（敬称略）以上2人

<傍聴者>

なし

次第：

1. 開会

2. 報告・説明事項

介護予防・日常生活支援総合事業について

3. 西浅井地域 おでかけワゴンについて

4. グループワーク テーマ：移動手段について

1. 開会

(長寿推進課長あいさつ) (省略)

(事務局)

- ・配布資料の確認
- ・本日の日程について説明
- ・委員変更（北川委員の退任の説明）
- ・委員 13 人中 11 人出席で過半数の出席により会議は成立したことを確認
- ・傍聴者なし

2. 報告・説明事項

(委員長)

本委員会では、地域で元気に生活し続けられる、また、地域で活躍できる地域づくりを進めるために議論をする場であると思います。

これからの支え合いの地域づくりに向けて、委員の皆様には各分野の代表として、活発にご意見を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

まずは事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

介護予防・日常生活支援総合事業について・・・資料②により説明

(委員長)

只今の事務局からの説明に関して、ご質問等ございましたらお願いいたします。

委員から質問なし

3. 西浅井地域 おでかけワゴンについて

(委員長)

それでは、私の方から「西浅井地域 おでかけワゴン」について、実際に住民有志によって利用された結果などについて報告をさせていただきます。

このあとのグループワークにもつながる内容となっていますのでよろしくお願いします。

(委員長)

西浅井地域 おでかけワゴンについて・・・資料③により説明

4. グループワーク

(委員長)

では、続きましてグループごとに討論をしていただきます。

テーマは「移動手段について」です。

今ほど、移動手段の地域資源の1つである「おでかけワゴン」について報告させていただきました。移動手段については、公共交通機関であったり、生活支援団体の移動支援などがありますが、利用するにあたり、使い難い部分であったり、不便なところなどもあるかもしれませんが、地域の暮らしを支える大切な移動手段の資源です。

今回は、それらの「移動手段の資源を活用してもらうためには」ということで討論いただきたいと思います。

ー以降、各グループでの討議ー

(各グループの成果発表)

●Aグループ（発表者：委員）

西浅井地域のおでかけワゴンのことを中心に話し合いました。

利用者や地域の意見を活かしながら取組みができると良いと思います。免許を返納された方や子ども達なども利用できるようになると便利になると思います。

●Bグループ（発表者：委員）

西浅井地域のおでかけワゴンについては、運賃や事前予約などの手間を改善しないと利用者が増えず、運行継続が難しくなると思います。高齢者が増えるなかで、移動手段が無くなることは生活の不便さが増すことにつながります。

びわ地域では、今年から移動販売車の運行が始まり、大変便利になりました。

ただ、こういった便利なサービスがあっても、周知が十分でないと利用につながらないと思います。老人クラブ連合会や福祉の会など各地域の団体が連携してチラシの配布などをしてはどうかと思います。行政だけでなく地域づくり協議会等が中心となって取組みを進めてもらいたいと思います。

●Cグループ（発表者：委員）

車が運転できなくなって困る場面としては、買い物と通院が高齢者にとっては大きいものだと思います。

買い物については、余呉地域やびわ地域をはじめ移動販売車が運行されていますが、通院については、車の運転ができないと大変困ります。デマンドタクシー等の運行もありますが、人員不足等で運行時間が短くなっているところもあります。また、余呉地域の「元気かい」など移動支援サービスをされている生活支援団体もありますが、事故発生時の不安を聞くことがあります。行政の方で何か制度のようなものをつくっていただけると良いと思います。使用する車両についても社会福祉協議会から借りるために余呉から木之本まで取りに行く手間もあるようです。

行政と地域住民とが、それぞれの立場で何ができるか検討していく必要があります。

おでかけワゴンについては、商業施設まで直接行き来ができるようになると良いと思います。また、西浅井地域内だけの運行では利用者が増えないと思います。

商業施設に送迎車を出してもらえると良いという意見もありました。

●Dグループ（発表者：委員）

車が運転できなくなってしまうことは、買い物、通院、趣味や用事等に係る移動など、色々なことが想定されます。

西黒田きんたろうサポート会が行っている移動支援サービスについても、最近は通院のための依頼が非常に多くなっています。買い物は、宅配サービスや移動販売車など他の代替方法がありますが、通院は生命を守るものであり、重要なニーズととらえています。一方で、趣味のための送迎などにまで対応することは難しいと考えています。

地域資源を活用してもらうためには、地域住民に知ってもらったり、紹介される仕組みがあると良いと思います。本人が知らないから使えないのではなく、周りから紹介してもらえ、そのためには、日頃からの関係性が大切だと考えています。

余談ですが、最近、ケアマネジャーと交流する機会があり、地域には話を聞いてもらいたい高齢者が多いということを聞きました。西黒田きんたろうサポート会の今後の支援として検討が必要だと感じています。

5. 総括

（委員）

京丹後市は6町合併したがバスは市内全域200円でした。おでかけワゴンも合併前の旧西浅井地域から出られないというのはどうなのでしょう。仕組みを検討して欲しいと思います。

世の中、車社会に慣れきってしまっています。我々自身が公共交通機関を衰退させることに手を貸しています。また、大規模小売店にすすんで買い物に行っていることも、地元の自営業を衰退させることにつながっています。そういう付けが今きているのだと思います。

バス等で病院に行けることは良いことですが、なかには病院の受付まで付添いが必要な人もおられます。大きな枠組みのニーズを満たすことも良いですが、一人ひとりの事情をくみ取ってその人にあった支援をすることも大事です。大きな視点と小さな視点の両方から支援を検討していく必要があります。

暮らしのまとまりを考えて「移動」を考えて欲しいと思います。その先に、社会参加や交流、生きがいなどが重なっていきます。単に「移動ができれば良い」というものではなく、並行して検討していただきたいと思います。

本日は、良い議論の時間でした。

（委員長）

最後に委員の皆さまにお願いがございます。日頃から、それぞれのお立場で情報を収集し、また、学習をしていただきまして、地域を支えるための課題、検討につきまして、今後ともご協力いただきますようお願いいたします。

以上